

国・東電と最も厳しく対峙する日本共産党 いのちとくらし・平和 最優先の県政へ転換を



9月定例県議会が9月11日から10月4日まで24日間の会期で開催されました。9月13日に神山悦子県議が代表質問、19日には宮川えみ子県議が一般質問、10月2日には宮本しづえ県議が総括質問、最終日には、吉田英策県議が議案への討論、大橋沙織県議が決算討論を行いました。



代表質問

神山悦子県議

原発 漁業者や県民合意のない 処理水の海洋放出は中止を

国は、ALPS処理水について、漁業者との約束を反故にし、8月24日に海洋放出を強行しました。知事に約束違反・県民合意のない海洋放出は中止を求めるべきと質しましたが、漁連代表が苦渋の思いで述べたと思われる「廃炉が完遂した時点で漁業が継続していれば、約束は守られたこととしたい」との「新説」を何度も繰り返し、自らの意見を述べない無責任ぶりを露呈しました。

ふくしま復興共同センターはオンラインを含む15万人を超える緊急署名を国に提出。海洋放出の差し止めを求める裁判も起こされており、中止は幅広い県民、国民の願いです。



県庁前で「海洋放出NO」と声をあげる市民団体と県議団=8/22

抜本的な地下水抑制対策なしにタンクは減らない

東電は来年3月末までに、タンク30基分を海洋放出する計画ですが、一方で1日90トンずつ増える新たな汚染水は20基分となり、実質10基分しか減りません。海洋放出を止めるため、県議団は広域遮水壁等の設置で建屋への地下水流入を抑制する抜本対策こそ優先すべきと求めてきましたが、まともな対策を取ろうとしません。

溶け落ちたデブリに触れた汚染水をALPSで処理したのが処理水です。そのためトリチウムだけでなく基準値以内とは言え、通常運転では外に出ない放射性核種が68種類も含まれますが、総量は明らかにされていません。県民合意のない処理水海洋放出は今からでも中止すべきです。



被災者宅で話を聞く5人の県議団と丸本ゆみこ党県災害対策部員=9/15、いわき市

いわき市豪雨被害調査

県議団は9月15日、いわき市の水害調査を行いました。丸本ゆみこ党県災害対策部員も同行。越水氾濫した宮川に近い内郷二中では、水に浸かった体育館の床板の劣化や床下の土砂、校庭の泥の心配などが見られました。また、高齢の女性は急な増水で台所のテーブルの上で一晩しのいだと言います。県議団は県や市に申し入れを行い、質問でも取り上げ、県が10万円の特別給付金支給を決定しました。



↑(写真左)ふくしま復興共同センターのみなさんと「海洋放出中止を」と街頭から訴える=8/24、福島市。
(写真右)国へ海洋放出を中止するよう求めようと県へ緊急申入れをする5人の党県議団=8/18、県庁

県民応援の県政へ

教育費

学校給食費と 高校1人1台タブレットは無償に

財源はあります

1人あたり福島県の
財政規模は全国3位です

県内51市町村・86%に学校給食費補助が広がり、うち30市町村は全額無料です。県が学校給食費の無償化を決断すべきと求めました。また、高校生のタブレットは、県教委推奨機で5万4,000円です。一部軽減措置はあるものの、全国25都道府県は公費負担です。無償貸与すべきと求めました。

請願事項

共産 自民 公明

小・中学校の給食費の無償化を求ることについて
(無償化求める請願は2011年以降10件提出)

全て賛成

全て反対

高齢者
支援

バス・電車代無料化 タクシー代補助 補聴器購入補助を

バス、電車代無料化とともに、タクシー代補助制度の創設は、県内どこでも切実な要求です。高齢者への移動手段支援で、全国に誇れる健康長寿の県づくりを進めるよう求めました。バス、電車代無料は、全額県負担でも10億円程度で可能です。また、補聴器購入の県補助も求めました。

重複やめ くらし
と営業守れ!

消費税減税し インボイスは中止 最低賃金はただちに時給1,500円へ

岸田政権は、物価高騰や電気代高騰、災害で大変な県民のくらしを顧みず、来年度の防衛費を過去最高の7.7兆円、5年間で43兆円への大軍拡路線を進めています。くらしと経営を守るため、消費税率5%への減税と10月からのインボイス中止を求めました。福島県の最低賃金は時給900円に引き上げられましたが、さらに中小企業を支援し、全国一律時給1,500円への引き上げが必要と求めました。



福島労働局に最低賃金引き上げの申入れ
=7/12、福島市

異常気象 地球温暖化対策 石炭火発廃止は待ったなし



世界的な異常気象の下で、今年は猛暑に加え、県内で初めて線状降水帯が観測され、いわき市等に甚大な豪雨被害が発生しました。地球温暖化対策は県民にとっても待ったなしの課題です。最大のCO₂排出量を占める石炭火発の廃止に向け、集中立地県としての本気の取り組みを求めました。

マイナ保険証やめ、現行保険証を残せ



神山悦子県議 代表質問

マイナンバー保険証のトラブルは今も続いている。別人の情報で薬が処方されれば、命の危険にさらされ、個人情報の漏洩も問題です。長年地域医療を担ってきた郡山市内の個人医院がデジタル化に対応できないと閉院しました。従来の保険証を残すとともに、他の事業とのひも付けも中止を求めました。

水害国支援対象外の世帯に10万円の給付金が実現



宮川えみ子県議 一般質問

豪雨災害被災者に県独自の支援策を求めていました。県は被災者生活再建支援法の対象外の床上浸水世帯に10万円の特別給付金（災害救助法の応急修理と併用可）等の追加補正予算を最終日に提案、全会一致で可決しました。

また、農業被害への支援、中小河川の整備の迅速化も求めました。

再エネ推進は環境保全と一体で



宮本しげえ県議 総括質問

災害級の集中豪雨が繰り返される下で、森林開発を伴う大規模再エネの開発が、環境を壊し災害を引き起こすと、住民から不安の声が上がっています。福島市は「ノーモア・メガソーラー宣言」を行いました。県も同様の取り組みで、環境保全と再エネ推進を一体で取り組むこと、異常気象にも対応できるよう林地開発許可基準の見直しを求めました。

8万円追加賠償・農業ワンストップ窓口実現！コロナ申入れ45回、災害へ県独自支援

県民に寄り添い、願い届ける 5人の共産党県議団



吉田英策県議 討論

原発処理水について、漁業者との約束を守り海洋放出は中止すること、中国との事態打開のためには外交努力を尽くすべきと述べ、関連3意見書に賛成、また、物価高騰対策は消費税5%の減税、10月からのインボイス導入中止こそ実施すべきといずれも賛成の討論を行いました。他会派はこぞって反対しました。問題だらけのマイナンバーカード推進・保険証廃止の意見書には反対を表明しました。

海洋放出中止 県民の声に応える県議会へ



原発賠償問題で政府・東電交渉=4/26



原発被災地の双葉町を訪問・懇談=2022年6/6

県民の願いを県政へ国政へ

くらし・福祉・教育・生業応援こそ優先に



大橋沙織県議 決算討論

2022年度決算について、以下の5点を指摘し、不認定の立場で討論。①物価高騰と災害から県民の暮らし・生業を守るべき、②命と健康を守る新型コロナ対策が不十分、③復興の在り方はハード事業優先でなく人間の復興こそ、④本気の地球温暖化対策を、⑤子育て・教育の充実について。財政規模全国3位の予算は県民生活を優先すべきと述べました。

主な請願・意見書

共産 県民 自民 公明

ALPS処理水漁業者との約束履行を求める	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
県民合意のないALPS処理水海洋放出中止を求める	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
日本産水産物輸入停止の解決と事態打開の協議を求める	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
消費税を5%へ減税し、インボイス中止を求める	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
マイナンバーカードの推進、保険証廃止を求める	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校給食費無償化の実施を求める	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
高校タブレットの全額公費負担を求める	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
奨学金返済の負担軽減を求める	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

否決
ノ
可決
継続
ノ
リ



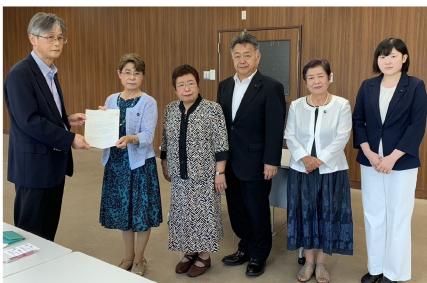
要望が実現！農業ワンストップ窓口を訪問=4/27



コロナ対応で県衛研訪問=2020/9/2



いわき市内郷二中の水害調査=9/15



福島労働局に最賃引上げを要望=7/12



党国会議員団福島チームと福島第一原発を視察=2022/12/22



学費や奨学金の負担軽減求め青年の皆さんと議長懇談=9/11